

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット2階)

事業所番号	2774001362		
法人名	有限会社 豊中オアシス		
事業所名	グループホーム桜塚オアシス		
所在地	大阪府豊中市南桜塚4丁目11-4		
自己評価作成日	平成30年6月24日	評価結果市町村受理日	平成30年9月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター
所在地	大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 4階
訪問調査日	平成30年7月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年も夏祭りを豊中オアシスと合同開催が出来ればと考えています。地域への貢献についてもこれまで以上に交流が持てばうれしく思います。地域のつながりを密に、また災害時にもお互いに協力できる環境を構築できればと考え、地域のお楽しみサロンにも参加させて頂いたりして地域の交流にも活かしています。小学校の行事にも参加したり施設内ばかりではなく、外にも行くように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設独自の理念には「明るく楽しい生活環境」となっています。利用者様もそうですが、職員も笑っていなければ、利用者様からの笑顔はないと思うので挨拶から笑顔がみられるそんな気持ちのいい施設だね。と言ってもらえるようにしたいと考えます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事を民生委員さんや介護相談員さんから情報を教えて頂き参加可能な限り利用者様と参加している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症のケアのプロとして活動していますので、地域の方にも色々と思えばと思っていますので、夏祭りを開催し、地域の方との交流の場になればと考えます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在は民生委員、地域包括、介護相談員、そして事業所の管理者、入居者様、家族様での開催になっていますので、2か月ごとの会議、研修その他色々な報告、また相談をさせて頂いています。地域の行事などはこのときに教えて頂いたりもしています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設でも対応困難なことがあれば逆に施策課に相談させていただいたりできる環境作りは行っています。会議の議事録等を持っていくなど協力関係を維持できるように努めています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	原則的には身体拘束は行わないを明示しているので、センサーを導入し、利用者様がいつでも外に行きたいというサインが分かるようになっていきます。時間が許す限りで日向ぼっこなども行っています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間計画の中にも今年度からは身体的拘束等適正化委員会を年4回、通常の研修も開催されているので、意識の確認や、注意、防止策についても随時職員と共有し、対応している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	グループ全体での会議の席で法律の専門家に来ていただき後見制度の研修をして頂きました。それを管理者が事業部で研修して職員への共有として利用しています。また利用者様の後見人の方がおられるので、何かあればアドバイスは頂ける環境はあります		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様の都合に配慮し、優先して日時を設定し、十分に納得の上で契約して頂けるように努めています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からの意見箱も玄関に準備はされていますが、なかなか記入されていることはありません。なので、面会時や連絡したときにお話する時間を少し頂き、会話の中から意見として繁栄できることはないかを見ています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設内会議は毎月設けています。その中で意見や提案をもらうようにしている、また年2回の管理者との面談も設けているので、不平、不満についてもあれば聞き取り可能な体制をとっているし、普段から何かあれば、相談という形で話てくださいと職員には伝えています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者からの聞き取りや人事考課なども行い、職員個々のスキルアップについても、会社負担の研修にも参加できる体制が確立している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修であったり、施設内研修の充実、今後どんな研修を受けたいかなども聞き取りしながら年間予定に添って行っていきたいと思います		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列会社のGHが近隣に2つあるので、今年も夏祭りの声掛けをしながら、交流をもち、研修会や意見の交換の場、防災訓練の合同開催もしていければと思います		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談やサービスの利用時の様子を見させていただき、本人様の生活歴、趣味、生き甲斐等アセスメントし内容を十分理解し、共同生活が安心、安全に過ごせるように努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約、入居に至るまで、見学や相談等をさせていただき、家族様の不安や要望についても家族様の意向も確認し関係作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネ、相談員との情報交換を密にとり家族様、本人様を含め今後の生活に対応し、話し合う時間を持つようにしています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	情報を共有し、本人様を理解できるアセスメントは職員も参加し、個別ケアを充実できるよう、本人と時間をかけ深く本人を知ろうと努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何かあれば電話連絡やメール、FAXの方法とさまざまな対応をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様の意向があって判断してもらっています。問題ない方であれば個人的にも面会に来られています。入居時に面会がダメな方がいるかも確認しています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性は大事なので色々と考慮した配置を工夫しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても家族様がお困りのときには気軽に連絡してくださいと説明しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何気ない事柄でも話し掛けいろいろな方向に話を広げて、本音を言わなかったり言えない利用者の本音を見つけたすようにしている。また、普段の行動を観察してここでどう暮らしていきたいと思っているかを観察。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から今までの生活歴を聞いたり、持参した様々な品物エピソードなども聞き出すようにする。認知症から聞くたびに違うことを話されることもあるが、繰り返し聞くことでわかることが増えていく		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝、介護記録、申し送り、を聞いて自分のいないときはどのように過ごしているかも把握する。気になることは自分の眼で観察していく		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスをケアプランを作成する前に必ず開いている。さらにその前にはケアカンファに出席できないスタッフなどの意見も聞く、ケアカンファでまとめた意見を、本人家族と話し合い、出来ることを中心に計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の1ページ目の下にケアプランの内容で実践出来たかどうかを記入する欄を作成している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	狭い施設だが何が出来るか、スタッフで意見交換して実践していく		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の催し物に出来る限り参加し、地域住民と交流を図る。運営推進会議などに来てくださる地域の方々を通じて、地域に施設を知ってもらう。利用者がほしい物があれば、スーパーやコンビニなどに買い物に出たり、天気の良い日は公園に行ったり、施設の人たちと分かるようにしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様の意向に添いかかりつけの病院の継続、協力医療機関を受けて頂く場合は、本人様、家族様の同意を得て内科医の往診を受けています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関から毎週2回の訪問があり、健康相談等にも意見をいただいています。同じ看護師さんが来てくれているので、相談はしやすくなっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は可能な限り面会や洗濯物を取りに行ったりしている。家族様からは病院からの情報を頂けるよう定期的に連絡も取るよう配慮しています。面会時には看護師や医療連携室の担当者とも話す機会をもち、早期退院に繋がるように努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合にける指針」「緊急時の対応」の文書を入居時に説明し、同意書を交わしています。GHでの可能な範囲を説明し、医療機関、家族様との連携を図りながら、対応しえる最大限まで支援に取り組んでいます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時応急処置、救急要請、緊急時の対応については細かなマニュアルがあるので、定期的に見直しと情報の共有と周知徹底をしていく		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施し、緊急時のへ何経路の確認や整備を行っています。災害訓練も今年度から年間計画の中に組み込まれています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の誇りを尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの生活ペースに合わせて希望や願いを引き出せるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活ペースに合わせ、その人らしい生活環境や介護計画に添ったその人らしい生活ができるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1回美容師の訪問があり、カットや顔そり等、本人様の希望を伝えて行っている。爪が伸びていれば、その都度爪切りを行っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に盛り付け、おやつと一緒に作って頂いたりとできる範囲で参加して頂き楽しみを持っていただけるように支援しています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を記録し個々の個別対応ができるように工夫しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを徹底し、各週火曜日の訪問歯科医による口腔衛生管理を行っています		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄パターンを把握し能力を生かし、排泄の自立に向けた支援を行っている。その都度、不快感がないように対応するよう心掛けている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品等を提供しながらコントロールし、困難な方については、内科医や看護師に相談しながら服薬等にて調整している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日を決めて行っているが、利用者様の体調、希望に添うように配慮している。基本的には週2回入浴になっています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	適度に日中運動を取り入れレクやゲームカラオケ、DVD鑑賞、散歩。安心して生活しリラックスして眠れるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	本人の状態の経過や変化等に関する日常の記録を医療関係者に情報提供、内科往診での薬の変更等指示にちいては、職員もわかるように申し送りノートに貼り出している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の暮らしが楽しみや張り合いのあるものになるように、洗濯物、買い物、飾りつけ作り、ぬりえ等利用者様に合った役割と楽しみを職員と共に行っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の行事にも参加したり、買い物や外出の機会を増やしていきたいと思います。誕生日には、職員とマンツーマンで外食と一緒に食べに行くこともしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	空の財布を用意し中に現金を入れ職員と一緒に買い物。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様が希望された場合、事前に家族様へ連絡を取り、その後職員がサポートして電話や手書きのやり取りを支援できるようにしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感(今の)思い出(ホームの行事等)を出すため食堂、廊下に飾り付け、写真、ぬりえ等を貼り、利用者様に深いや混乱がないよう配慮し、居心地よく過ごせるように工夫しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂にはTV、DVDがあり、食席もあり、気の合った利用者同士過ごせる。また、食堂にソファもあり2、3人で過ごせるよう工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら、本人が毎日居心地よく過ごせるよう思い出があるもの。使い慣れたものを活かし自宅とのギャップを感じさせない工夫をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関、廊下に手すりをつけている。利用者の中には、杖、歩行器を使い安全かつ自立した生活を過ごしている		